

# 第31回 化粧品包装セミナー (オンライン配信)

## —化粧品包装の次世代技術と環境配慮設計指針について—

日程: 令和4年12月13日 (火) 13:30~16:10

主催:  公益社団法人日本包装技術協会

※Zoomによるオンラインセミナー

### 化粧品包装セミナーの参加申し込み方法について

JPIホームページ(URL: <https://www.jpi.or.jp/>)より参加登録をお願いします。

Zoomを使用したオンラインセミナーとなります。

お申込みの方に、事前登録等の手続きをメールでご案内します。



### プログラム

時間	講演内容	講師
13:30 ▼ 14:20	<p><b>『パール/エフェクト顔料による化粧品パッケージへの加飾及びサステナブルな社会への貢献』</b></p> <p>弊社では、自動車、建材、パッケージ、化粧品など様々な用途で使われているパール/エフェクト顔料を開発、販売しております。その中でも化粧品パッケージは高い意匠性が求められる用途として印刷、塗装、樹脂への練り込みなどの方法により、様々なタイプの顔料がこれまでも採用されてきました。</p> <p>本セミナーではパール/エフェクト顔料の基礎から化粧品パッケージへの応用についてお話したいと思います。また、近年のトレンドである環境へ配慮したものづくりといった観点から、パール/エフェクト顔料が果たせる役割についても取り上げたいと思います。</p> <p>パッケージのデザイン、企画、開発をされる皆さまにとりまして、持続可能で魅力的なパッケージづくりのヒントになるような内容をお届けできればと思います。</p>	<p>メルクパフォーマンス マテリアルズ合同会社 開発応用技術部</p> <p><b>東 和久 氏</b></p>
14:30 ▼ 15:20	<p><b>『ヒト型双腕ロボットNEXTAGEによる包装作業の自動化「ヒトとロボットが共存する活人化ラインの未来」』</b></p> <p>化粧品業界では多品種少量生産、混種ラインが前提となっていることから包装・梱包作業の自動化が難しく、多くの熟練の作業員を配置せざるを得なかった。少子高齢化や円安による生産国内回帰の動きから、採用難は加速の一途をたどると予測され、ロボットやAIを活用した生産の効率化、省人化は全企業が取り組むべき課題となっている。弊社では、過去に難しいとされてきた化粧品業界でのヒト共存の自動化にユーザーと共に取り組んでおり、その中で得た知見をもとにいくつか自社の梱包自動化ソリューションを開発した。</p> <p>今回の講演ではそのソリューションを軸に、ヒトの作業をロボットに置き換えるポイントや注意点をお話させていただきます。</p> <p>また、化粧品メーカー様の悩みとして機電系のエンジニアが少なく、ロボットの立上げに不安があるという声をよく耳にした。劇的な解決方法は存在しないが、どのようにその不安を取り除いていくかについて、お話させていただきます。</p>	<p>カワダロボティクス株式会社 営業部 営業課</p> <p><b>材原 拓也 氏</b></p>
15:30 ▼ 16:10	<p><b>特別講演 『化粧品容器包装に関する環境配慮設計指針 (2022年) について』</b></p> <p>日本化粧品工業連合会 (以下、粧工連) では、化粧品産業における持続可能な社会実現への貢献の一環として、容器包装に関する環境配慮の取り組みを強化するため、1991年から段階的に容器包装に関する適正化方針や自主行動計画を策定してきました。2022年4月には「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、同法に基づく国の「プラスチック使用製品設計指針」が定められました。国の指針では、プラスチックに係る資源循環の促進等を図るため、業界団体等が製品分野ごとの設計の標準化や設計のガイドライン等を策定するとともに、事業者は当該ガイドライン等を遵守するよう努めることとされています。これを受けて、粧工連サステナビリティ推進委員会・容器包装部会では、2016年に改訂された自主行動計画を見直し、新たに「化粧品の容器包装に関する環境配慮設計指針」を策定しました。</p> <p>本講演では、容器包装の形態も様々な「化粧品」において、どのような観点から指針としてまとめるに至ったのかその経緯と指針の各項目をご紹介します。本指針が化粧品産業をはじめとするプラスチック容器包装の資源循環に係る全ての事業者のご参考になれば幸いです。</p>	<p>ライオン株式会社 研究開発本部 パッケージ開発研究所 主任研究員</p> <p>日本化粧品工業連合会 容器包装部会委員</p> <p><b>井出 安彦 氏</b></p>

# 講師のご紹介

## 東 和久(アズマ カズヒサ)氏

メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社  
開発応用技術部

### 【ご略歴】

1989年 日本ビグメント株式会社入社  
2004年 メルク株式会社入社(現メルクパフォーマンスマテリアルズ合同会社)  
現在に至る  
(有資格・著書)  
意匠性を高める顔料技術(サイエンス&テクノロジー社出版)

## 材原 拓也(サイハラ タクヤ)氏

カワダロボティクス株式会社  
営業部 営業課

### 【ご略歴】

2017年 カワダロボティクス入社 企画部特機課  
2018年 企画部営業課  
2020年～現在 営業部営業課

## 井出 安彦(イデ ヤスヒコ)氏

ライオン株式会社 研究開発本部  
パッケージ開発研究所 主任研究員  
日本化粧品工業連合会 容器包装部会委員

### 【ご略歴】

1988年 ライオン株式会社 入社  
2008年 同社 研究開発本部 包装技術研究所(現、パッケージ開発研究所)  
2019年 日本石鹸洗剤工業会 環境委員会 容器・廃棄物専門委員会委員  
2021年 日本化粧品工業連合会 サステナビリティ推進委員会 容器包装部会委員  
自主行動計画改訂タスクフォースに参加  
現在に至る

## 化粧品包装セミナー企画委員

\*本催しは各企業から代表された企画委員によりプログラムを編成しております

主査 住瀬 雅広 株式会社DSC 代表取締役社長  
加川 泰央 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計1課 課長  
藤井 幸司 株式会社コーセー 商品デザイン部 設計開発室 設計2課 課長  
高田 嘉嗣 ポーラ化成工業株式会社 製品設計開発部 事業管理センター係長  
木村 栄紀 花王株式会社 研究開発部門 包装技術研究所 主任研究員

## 開催要領

日時:令和4年12月13日(火) 13:30～16:10

※Zoomを利用したオンラインセミナー形式

申込者に事前登録の手順をメールで連絡します

参加費:

1名分参加費	会員		
	会員	会員 (3名同時申込1名あたり)	一般
本体	12,000円	10,000円	20,000円
消費税10%	1,200円	1,000円	2,000円
税込合計	13,200円	11,000円	22,000円

定員:100名

## 参加申し込み方法と注意事項

### 【参加申込方法】

- 本催しは「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となります。  
お申し込みは当会ホームページの化粧品包装セミナー参加申込ページよりご登録いただくようお願いします。

**当会ホームページURL: <https://www.jpi.or.jp/>**

- 参加申込者には**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。(登録後、事前の参加手続きが必要ですのでご注意ください。)
- 申し込みされた方には後日参加料請求書をお送りします。
- 申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。

### 【注意事項】

- 「Zoomウェビナー」を利用したオンライン配信となりますのでご利用の端末へのZoomアプリケーションのインストールおよびインターネット接続が必要となります。
- 接続回線の状況により視聴しにくい場合があります。通信費・接続利用料金等は自己負担となります。
- 本セミナーの内容について、録画・録音・キャプチャー取得によるデータ保存行為を固く禁止します。
- 申し込みの際**メールアドレスの入力が間違っていると案内メールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- 開催3日前からのキャンセルによる参加費のご返金はできませんのでご注意ください。

お問い合わせ先:公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当:竹内

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

TEL.03(3543)1189 FAX.03(3543)8970 e-mail:takeuchi@jpi.or.jp

### 【個人情報の取り扱いについて】

- 個人情報は「第31回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
- 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。